

SSH サーバを有効にする

ESXi 4.1 以前の場合

<http://www.hoster.jp/hofter-jp/esxi-ssh/>

1. コンソールの画面で、Alt + F1 を押します。(よくある、tty の切り替えで)
2. つぎに " unsupported " とタイプします。画面上には入力結果は表示されません
3. パスワードプロンプトが表示されるので、ESXi 本体に設定した root のパスワードを入力してください。
4. /etc/inetd.conf の 32 行目付近の SSH の先頭行の # を外します。(エディタは vi しかありません)
5. /sbin/services.sh restart をします。
6. Update for ESXi 3.5 Update 2 では services の再起動ではうまくいかないようです。その場合は、ps| grep inetd でプロセス ID を取得して、kill -HUP < プロセス ID > を実行します。これでもダメなら、本体を reboot してください。
7. これで晴れて SSH 接続は完了です。

ESXi 4.1 の場合

<http://d.hatena.ne.jp/ogawad/20110411/1302481870>

<http://d.hatena.ne.jp/jitsu102/20110212/1297491366>

方法 1 (コンソールからの設定)

1. ESXi が起動したら、[F2] キーを押し設定画面へ移動します
2. [Troubleshooting Options] を選択し、[Enter] キーを押します。
3. [Disable Local Tech Support] を選択し、[Enter] キーで設定を [Enabled] に変更します。
4. [Disable Remote Tech Support (SSH)] を選択し、[Enter] キーで設定を [Enabled] に変更します。
5. [Esc] キーを 2 回押し、起動画面に戻ります。

方法 2 (vSphere Client からの設定)

1. vSphere Client で ESXi へ接続します。
2. [構成] タブの [ソフトウェア] -> [セキュリティプロファイル] を選択します。
3. [セキュリティプロファイル] 画面右上の [プロパティ] を選択します。
4. 以下の設定項目のオプションで、起動ポリシーを [ホストに連動して開始および停止] に設定します。
 1. [Local Tech Support]
 2. [Remote Tech Support (SSH)]

ESXi に SSH でログインする際に使う鍵について

<http://kaznor.blog56.fc2.com/blog-entry-5.html>

ESXi の

```
/.ssh/authorized_keys
```

に公開鍵を仕掛けると、再起動の度に削除されてしまう。
バージョンによっては

```
/etc/ssh/keys-%u/authorized_keys
```

鍵のパスは sshd_config を確認する。

そこで

```
# cd /  
# tar cvzf ssh.tgz .ssh  
# mv ssh.tgz /bootbank/  
# vi /bootbank/boot.cfg
```

以下のように編集

```
modules=binmod.tgz --- environ.tgz --- cim.tgz --- oem.tgz --- license.tgz --- state.tgz  
を  
modules=binmod.tgz --- environ.tgz --- cim.tgz --- oem.tgz --- license.tgz --- state.tgz --- ssh.tgz  
に編集 ( --- ssh.tgz を追加)
```

再起動後に

```
/.ssh/authorized_keys
```

が存在することを確認する